

JR東日本社長感謝状受賞　（2025.11.11）

【認定NPO法人 日本を美しくする会】

清風掃々 53

この時、この場所、このご縁、よりよく、美しく

「清風掃々」第53号
二〇二六年三月発行（年二回発行）
〒一六〇－〇〇二三
東京都新宿区西新宿六－一二－六－六〇一
TEL〇三－六三〇四－五八八〇
FAX〇三－六三〇四－五九九〇
発行／NPO法人 日本を美しくする会
編集／清風掃々編集室



『絆』　画　野口智子

ホームページ

Web マガジン

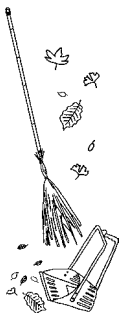
イラスト作者　裏表紙　野口　智子さん
本　文　鈴木砂予子さん
青田　菜生さん
秦　由見子さん

認定NPO法人
日本を美しくする会

清風掃々 53

この時、この場所、このご縁、よりよく、美しく

追悼
鍵山様の〝念い〟は私たちが引き継ぎます　日本を美しくする会 会長 冨田 浩志……3
鍵山掃除道は、社会を変え希望を与える光　日本を美しくする会 相談役 田中 義人…4
父の足跡に続く道　鍵山 幸一郎……5
「第18回 認定NPO法人 日本を美しくする会 総会」……6
教育と掃除　体当たりとトイレ掃除の生徒指導　田仲 三夫（泉佐野市）……8
SDGsと経営　掃除で変わった私の人生と経営　冨田 浩志（㈱とみひろ 会長）……14
NPO「認定」資格失効 ご報告と今後の方針について　日本を美しくする会 会長 冨田 浩志……18
情報公開（1）～（3）……30
JR東日本社長感謝状受賞……36
ご寄付された皆さまに、深く感謝申し上げます……37
『鍵山秀三郎「一日一話」』（14）……38
川柳こころの散歩道（14）……40　会の名簿……41　ひろば……44



絵　鈴木砂予子

追悼

鍵山秀三郎様



西暦	和暦	年齢	できごと
1933	昭和８	0	8月18日東京市生まれ
1952	昭和27	19	岐阜県立東濃高校卒業
1953	昭和28	20	デトロイト商会入社
1959	昭和34	26	2月1日結婚
1961	昭和36	28	10月ローヤル創業
1963	昭和38	30	会社で徹底した掃除始める
1990	平成２	57	複写ハガキ書き始める
1991	平成３	58	11月恵那はがき祭りで田中義人氏と会う
1993	平成５	60	11月第１回掃除に学ぶ会(岐阜 大正村)
1994	平成６	61	『凡事徹底』致知出版社
2015	平成27	82	10月16日脳梗塞
2025	令和７	91	1月2日逝去

参考　『やっておいてよかった』凡事徹底の80年　PHP研究所（2013）
鍵山秀三郎(著) 亀井民治(編)

鍵山様の〝念い〟は私たちが引き継ぎます

日本を美しくする会　会長　冨田（とみた）浩志（ひろし）

１９９６年、某法律事務所の記念式典で、鍵山秀三郎イエローハット社長の講演を聞きました。当時私は社長就任3年目で、多くの悩みと迷いの中におりました。お話しはわかりやすく、心に響きました。翌年鍵山さまが山形市にお見えになり、講演と掃除のご指導をいただき、「山形掃除に学ぶ会」が発足しました。

あるとき、上山温泉のお風呂の中で鍵山様にいわれたことは、私のその後の人生の指針となりました。

「社長は、念(おも)いと下座行を大切にすべきですよ。大きい会社にするよりも、いい会社にしたいですね。不安のない人はいません。不安があるから前進できるのです」

掃除の実践を通して、一番変わったのは私でした。妻がその変化に気づき、今一緒に活動してくれておりうれしく思っています。

鍵山様のお考えは、「凡事徹底」の言葉に集約されます。鍵山様が言われたとおり、掃除という凡事を徹底してやることで、自分も社員も心の荒みがなくなり、社風が良くなったのです。つまり、「日本を美しくする会」の理念「掃除を通して心の荒みをなくし、世の中をよくすることが私たちの心願です」を、身をもって体験しているのです。

なお、某法律事務所とは中村治嵩弁護士事務所です。中村弁護士の奥様は、鍵山様の高校時代の恩師佐光義民先生の娘様だったと後で知りました。今も法律的なことで相談させていただいており、不思議なご縁を感じています。

１９９３年、鍵山様の創唱で始まった「日本を美しくする会」、30有余年でその活動は全国そして海外へ広まってきました。これも鍵山様や田中義人相談役、そして諸先輩方のご尽力の賜物であると、深く感謝申し上げます。

鍵山様の念いと教えを未来に繋いでいくことが、私たちの恩返しであり使命であると考えます。

鍵山様、どうぞ心安らかにお休みください。

鍵山掃除道は、社会を変え希望を与える光

日本を美しくする会　相談役　田中（たなか）義人（よしひと）

鍵山秀三郎相談役と初めてお会いしたのは、平成３年（１９９１）11月23日、「恵那はがきまつり」でした。「30年間、毎日トイレ掃除を続けてきました。お蔭で人生も会社も大きく変わりました」

この一言は経営にいき詰っていた私の胸を貫き、翌朝から神社の掃除を始めるきっかけとなりました。毎朝の掃除により神社は美しさを取り戻し、私は掃除のもつ力を実感いたしました。

１９９３年11月、鍵山相談役のご指導の下、日本大正村で第一回「掃除に学ぶ会」を35名で開催いたしました。この時を機に、相談役は「日本を美しくする会」の活動を全国・海外へ広げられ、学校や企業、地域社会に多くの再生と変化をもたらされました。

相談役の志は、社会を変え希望を与える光として大きく育ってきました。その精神を受け継ぎ、鍵山掃除道を次代へ伝えてまいります。長きにわたるご指導に心より感謝申し上げます。





父の足跡に続く道

鍵山（かぎやま）幸一郎（こういちろう）

令和７年(２０２５)１月２日に、父が亡くなってから、たびたび追悼文を依頼されました。その過程において、あらためて遺した足跡の偉大さに、心を打たれています。最期の最期まで、極め細やかな氣遣い、心遣いをやりぬいた生き様に、自分の父でありながら、尊敬の念を深めた次第です。父から掃除を通じて、どんなことを教わったか振り返り、それを続ける決意をする時期ではないかと思います。日本を美しくする会の縁で出会った私たちが、これから大切にすべきことは以下と思います。

1．豊かな人生

相談役のお陰で心豊かな人生を歩んでいます、と書かれたお悔やみの手紙をたくさんいただきます。父の助言で人生を変えた方のお言葉です。掃除の会は、豊かな人生を歩んでいる人の集まりです。その輪が更に広がることを願います。

2．本当に大切なこと

イエローハットに入社すると、まず段ボールの縛り方を教わります。回収業者さんの作業を少しでも軽減するためです。また紙をゴミにしないことで、資源節約に加え、ゴミの少量化につながることも教わりました。そんな小さなこととバカにせずに、取り組むことにより、思いやりの心を育むことにつながります。掃除はまさに具体的に学ぶ場だと思います。

3．誰の仕事でもないこと

懇親会終了時に、当たり前にやっている、後片付けのお手伝いですが、私たち以外の人はまずやりません。残念ながら誰かがやるべきことがはっきりしているのに、放置されていることが現状です。誰がやるか決まっていないことを積極的に取り組むことで、人間力が向上すると教わりました。

掃除を単なる作業で終わらせるのは、もったいないことです。掃除から学び、思いやりや感動の心を育み、世の中から心の荒みを失くす活動を、これからも力を合わせて続けていきたいと思います。父の想いを風化させぬよう、足跡を一緒に辿りましょう。

「第18回　認定NPO法人　日本を美しくする会　総会」

■日程　令和7年2月9日(日)
　1部13時～14時40分
　2部14時50分～16時30分

■場所と人数
（1部）　81名
・新宿安与ホール　30名
・委任状　51名

【第1部】

○審議事項
・令和6年度　活動・決算　＊
・令和7年度　方針・活動・予算
　業務監査報告
・理事の選任
　退任　千種敏夫、竹花豊、石川元義
　新任　時政和輝　鈴木陽介　前田佳織　品田美幸　渡辺栄司　斎藤大輔　川畑文夫
・会長交代（2月21日付）
　退任　利哲雄
　新任　冨田浩志
・定款変更

○令和6年度の方針
「さらなるシン・凡事徹底で世の中に貢献します」
①一人の百歩より百人の一歩
②スポンサーの拡充
③国会掃除に学ぶ会の継続
④次世代への鍵山掃除道のタスキ
⑤教育関連への鍵山掃除道の浸透
⑥伝える・広げるための広報
⑦海外掃除に学ぶ会のサポート
⑧各地掃除に学ぶ会のサポート
⑨他掃除団体との交流

【第2部】

○鍵山相談役ご逝去と願い
　鍵山幸一郎氏

○パネル討論1
　利会長　冨田次期会長　田中顧問

○パネル討論2　新任理事
・時政和輝　鈴木陽介　前田佳織　品田美幸　渡辺栄司　斎藤大輔

○LINE公式の説明
　斎藤大輔氏

（注）　補足　第2号議案
「認定資格更新において、『寄付金の事業費率70％以上』の基準違反が判明。2025年3月31日失効。事業費配分を修正し、再申請予定である」旨を報告

ごあいさつ

日本を美しくする会 会長　冨田（とみた） 浩志（ひろし）



早春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。日ごろより「日本を美しくする会」にご協力とご援助を賜わりまして、誠にありがとうございます。

第18回総会（2025年2月）で会長に就任しました冨田浩志です。ご挨拶が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

鍵山秀三郎様の追悼文に書きましたように、「山形掃除に学ぶ会」の出身で、東北ブロック長、そして2022年に副会長を仰せつかり、昨年会長に就任しました。

長年掃除実践を続けてまいりましたが、至らないところは多々あり、また山形在住という地理的ハンディも感じております。

しかし、理事役員と会員の皆さまのご理解とご支援により、会の発展に精一杯尽くしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

なお「清風掃々」は、昨年3月の第52号以来発行を延期しておりましたが、このたび再び発行することになりました。お待たせしたことをお詫びするとともに、発行関係者に感謝します。

「清風掃々」の発行方針

広報誌として1997年に創刊し、今号が第53号です。発行方針を改めて整理しておきます。

コンセプト「掃除道の理念を普及するための啓発記事を提供し、世の中をよくすることに貢献する」

会員および一般の方にも興味を持っていただけるよう、40名超の特派員からの国内外の大小の活動の話題と、次のようなテーマを関係づけ、コンテンツの充実した記事をめざしてきました。

環境（ゴミ・水質・海洋汚染）、教育（学校、子どもの感想）、社会（心温まる感動の話）や経営（SDGs）などです。

今後さらに誌面を充実させ、皆さまに、より面白く役立つ情報をお伝えしてゆく所存ですので、よろしくお願いいたします。（編集室）

教育と掃除

体当たりとトイレ掃除の生徒指導

泉佐野市　元教師　田仲（たなか）　三夫（みつお）

大阪府泉佐野市の元教師田仲三夫先生（76）は、荒れた中学校に35年間務め、トイレ掃除をやんちゃな生徒とおこなうなどして、体当たりで生徒と向き合ってきました。退職後の現在も、視覚に不自由がありながら、学校での「ひとりトイレ掃除」と「駅前のガム取り」を続けています。（2024・1・27鍵山教師塾in伊勢の講話に加筆）　（編集　編集室）

＊

班目標「田仲に反抗しよう」

A校は、すごく荒れた中学校でした。トイレのドアは壊されガラスは割られ、校内でタバコは吸うし…。

1973年（昭和48）、23歳で赴任。最初のころ、生徒は無視し、反抗し、テストは白紙で出すのです。班ノートの1頁目に、「田仲、田仲、田仲…、大、大、大…、嫌い、嫌い、嫌い…」、3頁にわたって「田仲大嫌い」って書いているのです。それを土曜日の晩に見るのですから憂鬱ですよ。その班の目標は「田仲に反抗しよう」です。呼び捨てです。学校行くのが嫌でした。未だに忘れられません。その学校には21年間いました。

44歳で、1㎞離れた新設の中学校に異動しました。この学校は落ち着いた学校で、9年間いました。近隣でこんなに違うのかと思うほどでした。

ところが、54歳のときに、A校のPTA会長をやってる教え子が来て言いました。「A校が荒れている。先生が来てくれたらなあ」と。それでA校への異動希望を出しました。誰も転勤希望がなかったので、すぐ採用されました。校長は喜んでくれました。A校には定年までの14年間いて、結局通算35年間いたことになります。



料理と粘土で、「和」を教える

10年近く経って、クラスの初めにこんな話をします。

「これから料理の話するぞ・・・」。机にだーっと野菜を並べると、子どもたちは何をするんやろと思うんです。「カレーつくるとき、大根入れるか?」。「そんなん入れるか」って声が聞こえます。「玉ねぎ入れるな?人参入れるな?」って、見せるんです。

「じゃあ、サラダはどうや。大根は入れるか?ニンニクはどうや?」「ニンニクなんか入れるか」って言います。

「じゃあ、餃子つくるときはどうや。ニンニク入れるやろ。にらも入れるやろ。大根は入れへんな」。

「そや、味や。味が違うんや。それぞれ味があるんや。大根はきゅうりになれないし、きゅうりは大根になれん。でも一緒になって、サラダになる」…。

こういう話を、子どもは納得して聞きます。それはつまり「和」ということです。材料の違いはあっても、ひとつの料理になるということです。

もうひとつは、粘土です。「ここに35人おるやろ。粘土で悪いけど、これは赤坂やな、これ佐々木やな」。こうやって粘土を入れていきます。「皆で35人、お互いのこと分からん。でも一緒に授業する。給食食べる。行事やる。仲のいい子が出来ていくやろ。運動が得意とか。アニメが好きとかグループができるな。

7月ころ、中にはポツンと外に出て行く奴がおるやろ。あるいは、学校に来ない奴がいるかも知れへん。そして夏休みの後の文化祭では、出ていった奴も入れなあかんと話しするわな。33人より35人がいいということで、この子らを吸収する。そして12月には、グループは固まりになるんや。これが団結や！」と言って、粘土を黒板にバーンと叩きつけるんです。この話は、学年集会でもやります。同窓会があったときに、「先生、覚えてるで。粘土の話」と言ってました。

体を張って教える

私も30代で若かったですから、ある生徒に「お前とケンカしたい」と言われて、「殴り合いしよう」ということになりました。僕が先攻でグーでバーンとやりました。次は僕にカーンときました。口の中が切れました。おい、血出てるやないか、痛かったわと…。その後、彼は私を認めてくれました。

僕はタバコ吸った奴には、ケツパン（バットで尻を叩く）してました。女の子にもしました。そやけど、僕も2回されました。ケツパンしたことある先生はいても、された

先生はあまりないと思います。風呂に入ったら、腫れてますわな。そやけど、僕は彼らに卒業式で「待っとけよ」と言われたことは一回もないです。僕をこの野郎とは思っても、「こいつは本気やな」と思ってたんでしょう。21年間、生徒や親から、100%とは言わないが信頼を得たと思います。「熊」とあだ名で呼ばれたのは、「あいつやったら」ということでした。

A中に再赴任

3年の担任になりました。あるグループが空いてる教室を牛耳ってました。タバコは吸う、中から鍵をして入れない。「○○一家」と、やくざみたいな名前がついてました。どのクラスにもその一家が2、3人いるんですが、私のクラスにはそのトップがいました。他の生徒と交わることはない。先生方は、何とかしようとしていましたが、どうしてよいか分からず、悩んでおられました。その子らは「熊が帰って来た。何されるかわからん」と、構えてました。前の教え子の子どもたちです。

「お前、あいつの子か。父ちゃんから聞いてるか」では収まらない。それ以上に出来上がってる。タバコは止めない。常習です。自転車を廊下や体育館で乗り回す。3階の教室まで入って来る。止めようがない。しかし、「このままでは終わらせないぞ」と思いました。

トイレ掃除との出会い

トイレ掃除を知るきっかけは、月刊「致知」(2004・9月号)の鍵山相談役と広島市東区の山口富久区長の対談「清掃が地域を変える」を読んだことです。26年間運動会が開かれなかった二葉中学校がトイレ掃除で変わったとあったんです。

「これや!」と思って、山口区長に電話したら、「1月4日に来てください」と。そのとき「僕だけでなく職員に意識を持ってほしい」と言いましたら、山口区長が「わしが行くわ」と。「ええっ、来てくれるんですか」。2005年(平成17)1月18日、地域の人も呼び、山口区長に講演をしていただきました。

そして3月6日、卒業式の前に『心みがきトイレ清掃体験会』をやりました。「泉州掃除に学ぶ会」の協力で、140名が参加。2018年の私の退職の日まで、人数は減っても、学校の定例行事として計15回、1291名の生徒が体験しました。



『心みがきトイレ清掃体験会』感想文(第15回2018・3・11 16名参加)

○2年生女子

清掃するんやなあって思って行ったら、リーダーさんが素手でトイレ掃除していて、鳥肌が立ってびっくりしました。私が洗ったトイレはとてもキレイになって、とても心がきれいになったなぁと思いました。

2時間くらい掃除して、終わったらみんな集まっておにぎりを食べて、みんなの顔がキラキラしていました。普段話さない先生とも話せて、とても良かったです。これから身の回りや家の片づけなど、もっとこまめにやろうと思いました。

○2年生女子

汚い、臭いからいやだ、行くの面倒くさいなと思っていたのですが、トイレを磨いてみると、こんなにきれいになるんだな~と感じました。女子トイレより男子トイレの方が汚いと思いました。こんなに頑張って掃除しても、気づかれないのはちょっと落ち込むけど、三年生は気持ちよく卒業してほしいです。田中先生、ありがとうございました。

○掃除に学ぶ会リーダー

生徒さん全員、イヤな臭いに顔をしかめていました。でも始めると、誰一人イヤな顔をせず、便器に手を突っ込んで、汚れを落とすのにチャレンジしてくれました。この汚れどうしたらいいのかとか、どの道具を使ったらいいのかとか、真剣に質問してくれました。助言すると、一心不乱に取り組んでくれました。

そして、もとの真っ白な便器になりました。生徒さんは驚き、達成感と爽快感にみちあふれた顔になっていました。生徒さんに、自分たちの学校のトイレは自分たちできれいにしようという熱い気持ちがあったからだと思います。心からありがとうと言います。

大阪便教会の支援

泉佐野で便教会を2回やったことを、尼崎の大谷育弘先生に話しましたら、「大阪便教会は泉佐野に行こう」と仰って、2013年から5年間、泉州の小中学校でトイレ掃除を60回ぐらいしました。やんちゃな生徒は呼び、「誰も見てない



泉州での大阪便教会
(2016.8.27)

ところでやるんやぞ」と言ったら、「やる、やる」と言いました。

音楽室や美術室の床もひたすら磨きました。レポートは職員に配布しました。A校で最後の便教会の後、大谷先生は中華料理屋で「ご苦労さん会」を開いてくれました。

想いのバトン

大阪便教会　世話人　大谷育弘

「清風掃々」22号(2013・11月)抜粋

田仲三夫先生は、今年63歳。31年間勤めた中学校は、トイレのドアや便器が壊されたり、三階教室から机が降ってくるなど相当荒れた時代もあったそうです。

そんな中トイレ掃除と出逢い、自ら実践し、勤務校でトイレ掃除の会を定期的に開催されるようになりました。今年で11年目です。

田仲先生は、次の世代の教師に本当に大切なものを、本気で伝えていこうとされています。その想いのバトンをつなげていくために、泉佐野市内の学校で大阪便教会を開催させて頂こうと考えました。

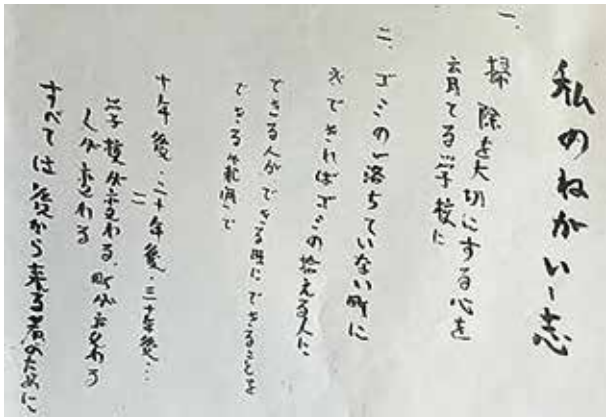
荒れた学校の先生は、日々の生徒指導で限界まで追い込まれていることもあるかもしれません。掃除は大切だと頭で理解できても、心で感じる余裕すらないのかも知れません。実は、そのような困難な状況で頑張っておられる先生に、掃除によって感じて欲しいものがあると存じます。

退職後の活動　2025・12月記

僕の失敗は、後を育てていなかったことです。僕が辞め新校長が来たときに、「田仲先生がやってたトイレ掃除どうする?」って聞いたら、シーンとしてたと。「ほんならやめとこ」って。僕はそれを聞いて、職員室に行って話しをさせてもらい、そして一人ひとりに、どうしてトイレ掃除をやってきたかについて書いた手紙を送りました。少しでも心に届いてほしかったからです。

私は、目がだんだん見えなくなってきました。でも、学校でのひとりトイレ掃除をしています。駅前ではガム取りをしています。学校に電話して、平日午後4～5時半までひとりでトイレ掃除をしています。たまに断られますが。現在まで、97回やってます。

「すべては後から来る者のために」


私のねがい一志

一、掃除を大切にする心を
育てる学校に

二、ゴミの一落ちていない町に
私でもできればゴミの拾える人に
できる人がでできる限りにできることを
できる範囲で

十年後、二十年後、三十年後…
二学校分来る、町がおる
人がおる

すべては後から来る者のために



私の願い

第一「掃除を大切にする心が育ってほしい。掃除を大切にする学校・先生・子どもに」です。

第二「ゴミが落ちていない町に。できればゴミを拾える人に」。大谷先生らと被災地に行き、休憩でコンビニに弁当を買いに行ったときに、大谷先生たちは喋りながらスッとゴミを拾ったんですよ。エッと驚きました。大谷先生らは、何の構えもなくてやりはるんやなあと。

今は僕も自然にやります。人前ではやらないけれど。それが10年、20年、30年経ったら、学校の空気が変わるやろ、学校が変わったら、人が変わる。人が変わったら町が変わる。鍵山相談役の言葉ですよ。

SDGsと経営

掃除で変わった私の人生と経営
伝統と革新の超長寿企業

（株）とみひろ 会長 冨田（とみた） 浩志（ひろし）

山形掃除に学ぶ会の「山形駅前清掃200回」に参加し、日本を美しくする会会長冨田浩志さんの取材を、会社見学とともにさせてもらいました。

（取材　編集室）

＊

山形駅前清掃200回

1月21日(水)6時、雪がちらつく氷点下4度、40名が集まりました。

冒頭冨田さんから、「始めた当初不審者かと警察から職務質問を受けました。コロナの時期1回休みましたが、16年間毎月第2水曜日朝5時半から7時ころまで、皆さんのご支援により続けられました」と、感謝の言葉がありました。

1時間山形駅～繁華街などの雪が積もっていないところのゴミ拾いや、通路のガム取りをおこないました。終了後、親切な会員が水道凍結のためにポリバケツに持参したお湯で道具洗いをおこないました。

支援団体の、「山形警察署洗心会」「ホテルメトロポリタン山形」「JR東日本山形地区」「山形区役所」の団体名が記された「200回記念タオル」が配られました。

最後に円になって、「床のガムの多いことに初めて気づいた、取るのに苦労した」などの感想発表がされました。警察学校の生徒さん数人や、遠くチリの外国人実習生女性も参加していました。



山形掃除に学ぶ会

1996年(平成8)発足、活動は大きく3つあります。

まず「学校トイレ掃除」です。1997年、第1回を日大山形高校で実施。以来小中高等学校に加え、2008年鍵山相談役の講演会とトイレ掃除で山形県警察学校とご縁ができ、県警本部長も便器に向かわれました。現在まで学校トイレ掃除は、120回以上を数えます。

次が、2010年から始めた「山形駅前清掃」で、このたび200回を迎えました。経緯は後述します。

3つ目が、「出羽三山神社鏡池清掃奉仕」です。山形市の北西約百㎞、鶴岡市の出羽三山神社は1400年前に開山し、修験道を中心とした山岳信仰の場。羽黒山神社の「鏡池」は、池底から平安時代以降の多くの鏡が見つかり、1950年国指定重要文化財に指定されました。社務所から会員を通じて、鏡池をきれいにしたいとの提案があり、2016年から毎年泊りがけで水面を覆う水草を除くなどの奉仕をしています。昨年で10回でした。

長寿企業「とみひろ」

冨田さん経営の(株)とみひろは、1578年(天正6)の薬種業に始まり、170年前に呉服業に専念した、創業440年超の長寿企業です。

社員130名、振袖事業(8店)、フォトスタジオ(4)、結婚式場(1)、カフェ(1)など、山形県を中心に東京・埼玉に展開し、京都に仕入れなどおこなうグループ会社があります。

理念社是は、「私たちは日本文化の伝統美を創造し、その振興を通じて社会に貢献します」。

2016年、県内に2500坪の桑畑を求め、養蚕事業を始めました。自ら養蚕して絹糸をつくり、草木染色し機織りして生地もつくり、着物の企画デザイン、販売、仕立てまで、自社で一貫しておこなう着物業界唯一の着物製造小売とか。

地域貢献では、花柳文化を伝える「やまがた舞子」や「酒田舞娘」への衣装提供、養蚕所見学、染織体験などをおこなって、日本の伝統衣文化を考える機会を提供しています。

京都では、毎年祇園祭で、山鉾の一つ「山伏山」の山建てから巡行まで協力しています。

「伝統とは革新の連続です」

長寿企業の経営のポイントを聞いて、返ってきた言葉です。その他に、「小さくはじめて大きく育てる」「良樹細根」などの言葉



がありました。

とみひろでは、染織・和裁などの日本の伝統文化と技術を次代に繋ぐ事業の一方、蔵を改造した上品な小規模結婚式場や、養蚕事業とそこで採れた桑の葉を使ったメニューのカフェ事業を始めたり、新しいことに挑戦する経営姿勢も各所に見られました。

冨田さんは、30歳代に社長専門の経営コンサルタント一倉定氏の経営塾を受講しました。「電信柱が高いのも、郵便ポストが赤いのも社長の責任である」などと社長の役割を厳しく指導した一倉氏には、特に「お客様第一主義」と「環境整備」を学び、「事業計画書」も作成したといいます。後に掃除の道に入ったのも、一倉氏の影響もあったろうとのことです。

伝統と革新が混じったとみひろの社風を感じました。

若いころ〝我〟が強かった冨田さん

冨田さんは、今は人の話をよく聞き、穏やかで、気も長い印象ですが、昔はそうではなかったといいます。以下は、冨田さんの話しです。

―社長就任は1993年、39歳のときでした。しかし大きな悩みを持っていました。「先代のいうことは聞くが、息子にはついていけない」などの、親子継承にありがちな社員との人間関係です。

自分が社長でいるのは先祖のお陰ですが、それを自分の力だと錯覚していました。机上の理論を社員に押し付け、傲慢に振舞っていたとの反省があります。

先輩から「経営者は、法律的相談ができる人を持つとよい」と紹介されたのが中村治嵩弁護士でした。

掃除で変わった冨田さん

1996年、中村法律事務所開設30周年記念で鍵山秀三郎さんの講演を聞いたのが、掃除とのご縁の始まりです。社長就任まもなくで悩み苦しむ時期、鍵山さんの話はとても腑に落ちるものでした。「問題はすべて自分にあった」と気づき、決心しました。

まず、毎日会社のトイレや駐車場の掃除を始めました。そのうち、商店街から山形駅前にまで範囲を広げました。3年間一人でした。

会社では多くを語らなかった先々代・先代に仕えた専務が、このころから黙って一緒に掃除をしてくれるようになりました。その後、部長らが一緒に掃除に参加してくれるようになりました。専務はその後、献身的に冨田さんを助けました。

十年目　奥様が「変わったね」と

奥様は、冨田さんが掃除を始めたことで、当初は変な宗教に入ったのではと心配したそうです。しかし一人で掃除を続ける冨田さんを見て、10年くらいして「あなたは変わったね」と。

冨田さんは振り返ります。

「鍵山相談役が一人でトイレ掃除を10年して社内に広まってきたと聞きますが、人も組織も本当に変わるのは10年ですね」と。

山形掃除に学ぶ会が、冨田さんが続けていた「山形駅前清掃」を、会の活動として取り組み始めたのが2010年、「出羽三山鏡池清掃奉仕」を始めたのが2016年。

この間、黒沼共同会計事務所の黒沼範子さんは、山形掃除に学ぶ会の事務局としてその発展に尽くし、さらに日本を美しくする会が賛助会員制度を採用する際には、率先して多くの会員を獲得し、多大な貢献をしました。

冨田浩志さんに期待

冨田さんは、掃除をすることで自分を変えていきました。それとともに、会社運営も軌道に乗っていき、この姿勢が代表世話人であった「山形掃除に学ぶ会」の活動にも反映し、多くの仲間を巻き込んでいきます。今も出張のない日は駅前清掃を一人で、年に220～250日おこなっています。

冨田さんは2025年9月、長男の泰弘さんに社長を継承し、会長になりました。泰弘さんに「浩志会長が掃除を始めて変わったことは何ですか」と聞くと、「いろんな視点から物事を見るようになったことでしょうか」とのこと。

「パッタンパッタンの音がする機織りや糸車」「心のこもった少人数の結婚式場」「桑の葉を使ったカフェ」などを見学して、日本の伝統保存とともにそれを革新する、とみひろさんを知りました。

冨田さんが問題山積の当会を、新しい視点で改革・運営されるだろうとの期待が持てた取材でした。



「山形駅前清掃200回」道具洗い
左端 冨田さん

NPO「認定」資格失効

ご報告と今後の方針について

日本を美しくする会

会長　冨田（とみた）浩志（ひろし）

日頃より当会の活動に多大なご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

２０２５年４月ＮＰＯ法人の「認定」資格を失効し、大変ご心配・ご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

その後、本質原因を究明すべく、第三者の弁護士による調査、会員アンケート、そして顧問弁護士から提言をいただきました。これらのご報告と今後の方針を申し上げます。

認定失効と原因究明の経過

２０１０年に取得した「認定」は、５年毎の更新があります。２０１４年と２０１９年に更新審査を受け、東京都から認定を得ました。

しかし２０２４年の申請では、「受入寄付金総額に対する70％の事業費率基準を満たさない」との指摘を受け、更新申請を取り下げました。新規申請を目指しましたが、改めて多くの問題を指摘され、申請を取下げることになりました。（２０２６年２月）

感情や推測ではなく、事実と客観的視点に基づいて本質原因を究明するために、弁護士による「第三者調査」を実施することにしました。

対応は以下の通りです。

(1) 更新申請取下げの経緯等のホームページへの掲載
(2) ６月６日付会長書信「会員への今後の取り組み等」交付
(3) 会員アンケート
(4) 理事対象のＮＰＯ法人制度等に関する研修
(5) 税理士への経理面の協力依頼
(6) 顧問弁護士に「中村・椎名法律事務所」の採用
(7) 顧問弁護士以外の、「第三者調査」の実施

＊

【資料】

「なぜ認定を取得したのか」

日本を美しくする会は、(株)イエローハットの創業者鍵山秀三郎氏の理念に賛同した有志により、１９９３年任意団体として創設され、この輪は日本から海外にも拡がり、各地に「掃除に学ぶ会」が設立されていきました。

しかし規模拡大に伴い、任意団体では、対外的契約や口座開設に支障をきたすようになりました。また、イエローハットや鍵山氏などの一部個人に依存する資金面と事務局体制の運営継続に、無理が生じてきました。

そこで２００７年、鍵山氏の理念実現に資するために、同志の自立的運営による「ＮＰＯ法人」に移行しました。

さらに一層の活動の発展を見据え、２０１０年４月、より広く寄付金をいただける寄附金特別控除の優遇措置を受けられる「認定ＮＰＯ法人」資格を取得しました。鍵山氏はこのことを、以下のように大変お喜びでした。

鍵山秀三郎『正しく生きる』

アスコム、２０１０、１４２P(引用)

２０１０年４月22日、当会は「認定ＮＰＯ法人」になりました。これは日本にまだ少なく、当会は１３５番目の認可団体になりました。私たちの活動と会の存在意義が世に認められたものだと意を強くしています。

認定ＮＰＯ法人は、ＮＰＯ法人の中で一定要件を満たすものに対して…国税庁長官が認定するものです。…国税庁が厳しい条件を課しているのですが、私たちは「日本を美しくする会」を非常にクリーンに運営していましたから、なんの問題もありませんでした。

認定ＮＰＯ法人になったことで、「日本を美しくする会」は今後、活動の中身がいっそう濃くなることでしょう。いままでみなさんの手弁当で運営してきましたが、これからは広く浄財を得て、ますます活動の範囲が広がっていくと思います。

「認定」の意義・意味

・対外的には社会的意義のある活動をしている団体という評価が得られ、内部的にはガバナンスがしっかりした法人の証明です。特に認定は、全国約5万のＮＰＯ法人のうちわずか2・6％(２０２５年現在)であり、行政・学校など社会から信頼が得られます。

・ＮＰＯ法人への寄付者には税優遇措置があり、賛同者を広く集めることができます。認定は、その比率が通常ＮＰＯの数倍あり、特に大口寄付者には有利です。

第三者調査報告書（抄録）

ひのき総合法律事務所
弁護士　魚住　智哉

はじめに

日弁連ガイドライン「ステークホルダーのために調査し、対外公表し、団体の信頼と持続可能性を回復する」を基本に、調査は規定・議事録類と、現・旧役員8名のヒアリング等によりおこなった。

当会は、２０１０年に「認定」を取得。その後２０１４年と２０１９年、東京都に更新申請し認定を得た。しかし、２０２４年の申請では、「認定更新は困難」との連絡を受けた。

今回の問題の経緯

・取得当時から理事会は、認定の言葉こそ認識していたが、その具体内容を理解している者は皆無に等しかった。

・申請作業は、前任から特段の引継ぎもなく、過去の書類を参考にして、東京都の指摘を受けて完了させていた。

・今回「認定更新は困難」の連絡あり。当会は、対象年度がコロナ禍の下にあったことなどを訴えたが、都の判断は覆らなかった。

・会は、経緯等をホームページ掲載や文書送付などで通知する一方、２０２５年8月新規に認定申請をおこない、その結果を待っているところである。

（結局取下げた、18Ｐ参照）

会の運営や財務をめぐる諸問題

２０１０年の認定取得以降、賛助会員も増え会費収入が安定的に得られるようになった。一方、２０２１年理事の一部から次のような問題提起がされた。

①事務局機能強化　専務理事に依拠し業務が見えないために改革の必要性　②予算管理　毎年（6年間赤字が連続　③ＮＰＯ法人制度・賛助会員制度の理解のため広報の必要性　④管理費運用基準違反「全体支出の2分の1以下」5年間違反　⑤物販不可の理解の誤り　設立以来の理解が間違っていたと判明　⑥業務手順書の作成　⑦会議・役職の定義明確化などである。

管理費の多くを占める役員報酬などの見直し、予算作成手順書の一部実行はされたが、多くは未実行のままとなった。この原因として、事務局の業務量の多さ、コミュニケーションの悪化が起因していたものと推察される。

原因と背景について

（直接原因）以下が窺われる。

○役員の制度の意義や法的効果の認識の乏しさ、意識の薄さ　事務局も理事も認定制度を本会が社会的に認められたという意味でしか捉えていなかった。

○申請作業は事務局任せで、役員の事前チェックはなく、財務理事、監事のチェックも利かなかった。

役員の制度への理解不足やチェック体制がなく、会員の多くも理解はなく、会全体に制度の認識・意識が希薄だったことが一因となったことは明らかである。

（背景）

○任意団体当時から、属人的な事務局体制に依存し、役員は、法的責任に無自覚のまま就任し、その後も毎年同様の状態で組織構成されていく一種の風潮があった。

○役員は一般に善管注意義務を負い、法人に損害を与えた場合、債務不履行や不法行為責任を負う。この認識があれば、認定基準違反や物販不可などの誤った理解が長年続くはずがない。

しかし、本会役員においてこの認識が乏しかったこと、および２０２１年に問題提起された未実行項目が当時対応できておれば、今回の問題に至らなかった可能性は否定できない。

以上、背景に、法的責任を伴う認定ＮＰＯ法人の役員への就任の自覚が乏しく、それが毎年継続されていることがあると考えられる。

再発防止策等の提言

①本会の理念、制度の意義を会全体で共有　②役員の法的責任、認定基準を含む制度の勉強　③認定基準のチェック体制構築　④事務局強化　⑤役員業務分担明確化等がある。

＊

報告書は、当会公式ホームページ、または事務局にお問い合せください。

ホームページご案内

・会員アンケート
　↓　２０２５・11・26付
・第三者調査報告書
・再発防止等についての意見書
・今後の方針
　↓　掲載予定（26・2現在）

会員アンケート

お客様や社員の声を聞くことは、経営の基本です。当会では、鍵山相談役は各地の掃除活動に参加し、参加者と親しく交流し、多くのハガキを書きました。その他、講演や執筆活動で、掃除道の理念浸透とよいコミュニケーションが図られていました。

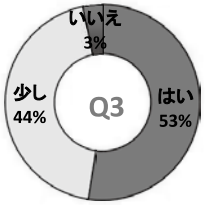
今回の事案を契機に、会員様にアンケートをおこないました。当会初のことです。

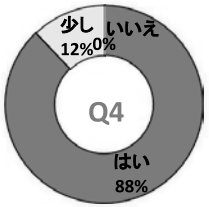
多くの意見の中には、活動への強い情熱も窺われた一方、中には強い不満などもありました。皆さまとのコミュニケーションはとても大切であり、今後も定期的に実施して会の運営に生かしたいと思います。

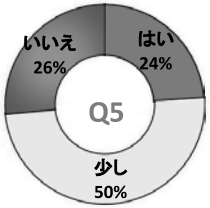
・対象　掃除に学ぶ会140か所　回答75名
　(性別、都道府県、所属会、年齢歳代、掃除歴年、会員種)
・時期　2025年8月8日～8月25日
・内容　(1)質問21項目　「はい」「少し」「いいえ」で答える
　(2)フリーアンサー　自由に率直な意見・考えを述べる

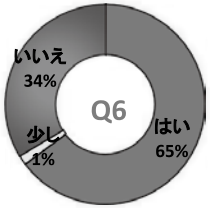
Q 1：日本を美しくする会の理念を知っている
Q 2：会の理念に賛同している
Q 3：本部の方針や声は伝わっている
Q 4：会の社会貢献活動に誇りを持っている
Q 5：会の未来に不安がある
Q 6：会は認定をうちなったことを知っている
Q 7：認定の意義・意味を知っている
Q 8：認定は会の発展に必要と考える
Q 9：認定の再取得に賛成します
Q10：会は賛助会員増加の努力をしている
Q11：清風掃々を読んでいる
Q12：ホームページを見ている
Q13：LINE公式を見ている
Q14：会の情報開示に満足している
Q15：収入の8割は賛助会員からと知っている
Q16：予算、支出、損益等を知っている
Q17：掃除に学ぶ会の人間関係は良好である
Q18：掃除に学ぶ会の活動に満足している
Q19：何でも話せて、提案もできる
Q20：本部やブロックとの交流はある
Q21：掃除以外の団体と交流をしたい

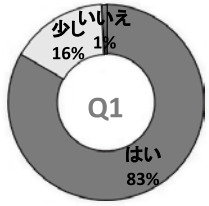


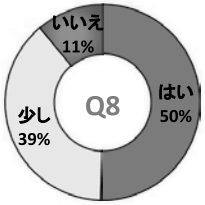


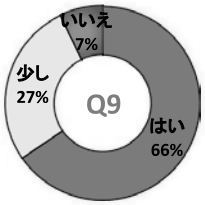


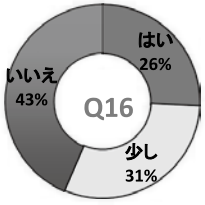


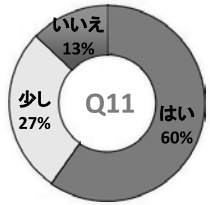


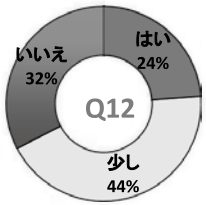


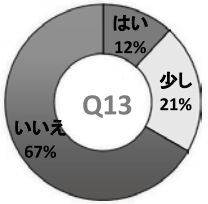


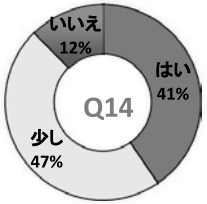


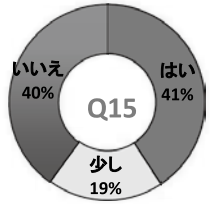


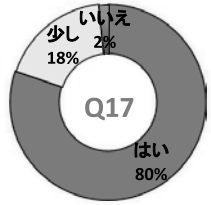


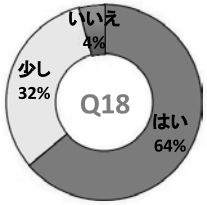


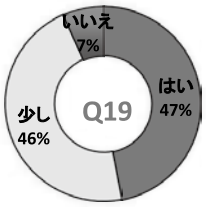


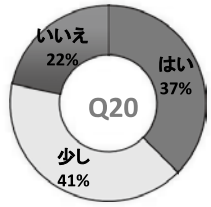


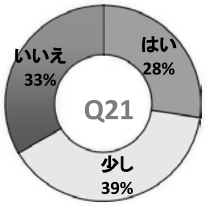












会員アンケート　フリーアンサー

（抜粋）

（鍵山さんとの思い出）

・鍵山様と掃除できたのが宝です。

・鍵山先生の夢を忘れてはなりません。最近の子どもは人間関係が作れず、自尊感情を持てず、不登校が多い。便教会活動が期待される。

（理念・活動の意義・現状）

・世界中で近隣掃除をすると平和で穏やかになる。街が良くなった事例を作っていきたい。

・掃除の仕方など、本来の「掃除で荒みを取る」から逸脱し、教条的な感じがしてついていけない。

・掃除に何を学び、生かし、世の中を良くしていくかの学びを深めていかないと、相談役亡き後の会の継続は厳しくなろう。

・ベテランの指導押し付けにより、若い人が敬遠していると思う。

（認定失効について）

・認定意味知らない。認定必要ない。認定再取得反対。

・必要かどうか分からない。認定はなくても掃除活動はできる。

・認定により、社会的信用度がまったく違う。認定の意味を本部役員が分かっていなかった。

・鍵山相談役は認定を誇りに思っていました。再取得を望みます。

・会からの手紙は、「どこに問題があり、なぜ起こったのか？」の、分かり易い説明がほしかった。

（情報公開・財務）

・予算や支出内容について知らず、どう運営されているかも知らなかった。

・東日本大震災の義捐金５千万円が、毎年の欠損金に補填されていた（と知った）。これは義捐金として使うべきでは。（複数名）

・清風掃々は読んでいたが、損益に無頓着であった。２０１５年以来の連続赤字は、持続可能ではない。対策が求められる。

（人事・交流）

・毎月高齢者７～８名の参加で、会の存続が危うい。年会費もいずれ支払いが難しくなると推定。

・高齢化で後継者不足に悩んでいる。（複数名）

・若い方の参加が少なく、会の未来に不安がある。

・自地域がきれいになれば十分、年一度のブロック大会で満足。

・ブロック長・各地の会や理事で、人材育成と活性化のために、任期制による交代が必要では。人事に不信を感じる。（複数名）

・会の活動に不満。何でも話せて提案できる状態ではない。

会員アンケート　総括

鍵山相談役と掃除の意義

○鍵山氏への敬慕の念は強い。会の将来に不安を持つ人多い。

○理念は強い支えになっており、「活動に誇りを持っている」人は９割近くと多い。

○「トイレ掃除の負担大」「若者は入りにくい」「指導の押し付け感」とともに、軽負担の「街頭清掃」や「学校との連携」、「外国人と清掃」などの提案あり

認定失効に関し

○「認定の意義」を知らない人は27％で、若い人ほど多い。

○当会が認定を失効したことを知らない人が、３割以上いる。

○「認定はなくてもよい」と考える人と、「信用につながるから必要」と考える人で、意見が割れている。

情報公開・広報

○「清風掃々」を読んでいる人は６割、読んでいない人は13％。

○「ホームページ」や「ＬＩＮＥ」を見ていない人が多い。

○会の情報開示に満足していない人は、少しを含め６割近い。

財務内容

○会の「収入源」を知らない人は41％、「予算や損益を知っている」人は26％と関心は低い。

○「正会員年会費」２万円は高い、「義捐金」使途に疑問などの不満が、特に高齢層に多い。

（その後の調査で、東日本大震災の義捐金はすべて被災地活動に使用されていると判明）

組織運営・交流

○高齢化による後継者不足、若者の参加不足が、特に地方で深刻な問題である。

○役職固定化が、組織風土を悪化させているとの指摘もある。

○「活動に満足」「人間関係は良好」に、「はい」は64～80％だが、フリーアンサーでは強い不満をお持ちの人もみられた。

○「本部・ブロックとの交流がある」や「掃除以外の団体と交流したい」に、「いいえ」が多い。

【まとめ】

鍵山氏への敬慕の念や掃除の理念に誇りを持つ人は多い。

一方、認定の意義や会の拠って立つ財務基盤に関心のない人は多い。情報公開や広報が不十分であるとも考えられ、これに不満を持つ人は多い。

後継者難や若者参加不足、会費負担などにより存続に苦しむ会が増えている。

活動も、本部・他団体との交流は以前ほどではなく、地域的にこじんまりしてきているように見受けられる。

再発防止等についての意見書

中村・椎名法律事務所
弁護士　中村治嵩・椎名健二・野中大輝

はじめに

「第三者調査報告書」を踏まえ、顧問弁護士として提案します。

なお、本意見書は、理事会への参考と会員への説明責任を果たし、透明性ある組織運営を確立することが目的です。

原因の分析

1　制度理解の不足

理事・監事の多くが、法や認定、事務的・会計的要件を理解把握しておらず、事務局任せにしていた。

2　ガバナンス機能の形骸化

理事会等での議論は形式的で、監事も会計監査中心で業務執行監査機能が発揮されていなかった。

3　責任意識の分散

役員過多で積極的関与者と名目的在任者が混在し、意思決定主体が曖昧で対応遅れの一因となった。

4　無報酬文化と職責意識の希薄

事務局長を除く役員には長年無報酬の慣習があり、役員は「善意による参加」に偏り、法的責任や説明責任意識が醸成されず、職務を「責任ある経営行為」として認識しにくい土壌があった。

5　まとめ

本会が任意団体からスタートしたことが、背景にありそうです。認定後も役員らにその感覚が残り、職務分掌や責任所在などの重要問題に、あいまいな空気感があり、これらに起因し、今回の事態に発展したことは明らかです。

再発防止策

1　役員体制

⑴員数の見直しと所掌の明確化

過剰な員数は意思決定を遅滞させ、責任所在を不明確にします。

⑵役員への適正な報酬

役員に報酬を支給し、善管注意義務等の法的責任を自覚させます。目的は、「専門性確保」と「責任明確化」です。「職責に見合う自覚」を促す相当な額とし、時間・労力を正当・客観的に評価し、説明の透明性を確保します。

⑶理事会の運営改善

・理事会は、迅速な対応とともに、意思決定過程での支障と責任所在を明確にするため、定款に不記載の会議体は、理事会に一本化するなど整理します。

・監事は理事会に出て、運営全般に関する意見を述べたり、理事の質疑に対応する必要があります。

・理事会は、業務執行や意思決定の重要な地位にあり、闊達な議論がなされる必要があります。

・理事会資料および議事録を整備し、会員が閲覧できる体制を整えることです。

⑷　理事・監事向けの研修会

法令遵守意識と運営能力を高めることです。ＮＰＯ法、法的責任、会計、寄附金管理及び所轄庁対応などであり、外部専門家を招聘するなどして充実させます。

⑸　理事の意識改革

・理事に問われるのは、本会をどう運営していくかのビジョンです。例えば、清風掃々第47号「理念を具現化するビジョン」特集などの一つひとつを形にしていくことが理事会の使命です。

・会員アンケートに「相談役後のビジョン・運営」や「相談役の夢」を追及してほしいなどとあります。

・鍵山相談役の精神に立ち返り、ビジョン実現に責任と誇りを持つことが最重要です。ここに目を向けられなかったり、検討する問題意識すら持たない人は、理事に不適格といえます。

2　事務局の強化

実務担当理事と事務局の協働で、より円滑な事務運営をおこなうため、スタッフ増加も含め事務局機能の強化が必要と思われます。

本会拡大の提案

賛助会員のすそ野を広げることです。鍵山相談役の掃除哲学は人生の真理に触れるものですが、残念なことに本会はまだ世の中に知られていません。あらゆる手段を用いて知名度を上げることです。

実施中の学校での活動は、地域と結びつき、知名度を上げ、若返りにも繋がります。清風掃々47号にある項目を、一つひとつ具体化・実行していくのは今です。独自の営業マニュアルにより本会を売り込んだり、成功事例を共有し、マニュアルや研修へのフィードバック、といったサイクルを回します。

おわりに

役員が、本会の法的責任主体としての自覚を十分に持たず事務局任せにしていたことは、組織運営上の重大な課題です。本意見書の提言にある再発防止体制を確立し、認定ＮＰＯ法人として再び会の拡大を実現できると考えます。



今後の方針

「一人の百歩より、百人の一歩」
―未来へ再生の決意―

会長　冨田 浩志

平素より、会の活動に、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。第19回総会にあたり、２０２５年度の振り返りと今年度の方針につきまして、ご報告申し上げます。

（２０２６・２・８の第19回総会発表）

１ ２０２５年度の振り返り

極めて重い一年となりました。年初、長年本会を導いてくださった鍵山秀三郎相談役が逝去されました。私たちは計り知れないほど大きな存在を失いました。

その後、認定ＮＰＯ法人資格の失効という重大事態に直面し、会員の皆さまに多大なご心配をおかけしました。さらに、会員数減少と財務悪化が続きました。

２ 会員数と財務の推移

会員数（２０２５年度）

・個人賛助会員　想定４００名
　→ ３２９名（▲71名）
・法人賛助会員　想定１４１社
　→ １２７社（▲14社）
・正会員会費　２１２万円
　→ １４６万円（約3割減）

収支（２０２５年度）

・経常収益　約１１４０万円
・経常費用　約１３８４万円
・当期赤字　約２４４万円

この結果、これまで鍵山相談役や諸先輩の皆さまによって積み上げられてきた繰越金を取り崩すことになりました。会長として深くお詫び申し上げます。

３ 認定失効と組織運営への反省

認定資格の失効は、理事会全体の責任であり、組織の課題の表れでした。理事会を代表し、心よりお詫び申し上げます。

昨年度は、認定再取得および運営面の課題抽出を最優先課題とし、「清風掃々」を休刊して対応に集中しました。

残念ながら、認定資格の再取得は叶いませんでした。東京都より事業内容、経理処理の問題を指摘されています。

また、弁護士による第三者調査報告書および提言からは、理事会のガバナンス・事務局体制が弱いことを指摘されています。

認定資格の再取得は、２０３０年度を目指すことになりますが、運営を抜本的に見直します。

４ 会員アンケートへの御礼

２０２５年会員アンケートを実施し、多くの率直貴重なご意見をいただきました。これらは、２０２６年度以降の方針に確実に反映してまいります。ご協力に、心より感謝申し上げます。

５ 本会の理念と原点

本会の原点は、鍵山相談役の理念「掃除を通して心の荒みをなくし、世の中を良くすることが、私たちの心願です」にあります。

私たちは、今こそこの原点に立ち返ります。

６ ２０２６年度の基本方針

２０２６年度を「改革元年」と位置づけ、3年以内の黒字化を目指します。

① 財務再建
・会員の拡大
・会費収入の回復と広告・協賛収入の確保
・経費削減、特に外部委託費の削減・内製化

② 組織改革
・理事数適正化（1年かけて実施）
・執行部会廃止、理事会へ一本化
・委員会活動と全員参加の改革

③ 事務局改革
・月次決算体制の確立による、会計の透明化と情報共有の徹底

④ 広報・情報公開
・ＨＰを基軸の情報発信、並びに清風掃々・ＬＩＮＥ公式との連携
・年次報告書の作成

７ ２０２６年度予算の概要点

・収入　約１０７０万円（２０２５年度実績より低めに設定）
・支出　約１２７０万円内に抑制
・目標　赤字幅を縮小し、２０２７～２０２８年度の黒字化達成

８ おわりに

私たちは今、鍵山相談役の心願を、次世代へ確かにつないでいく大切な岐路に立っています。

「共に考え、共に学び、共に歩む」積み重ねが、本会の再生と発展に繋がると確信しています。

鍵山相談役の言葉「一人の百歩より、百人の一歩」を今こそ大切にしながら、心を一つにし、持続可能で信頼される組織の実現に向け、着実に歩みを進めていこうではありませんか！

今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

情報公開(1)

日本を美しくする会収支報告

第18会総会（2025・2・9）資料より

情報公開の意義　「清風掃々」第39号「NPO制度では、所轄庁の監督をゆるくし、その分『情報公開を通じた市民の監視を前提とする』とあり、事業報告書などは一般公開する義務があります。当会は、皆さまによりわかりやすい形で情報公開します」

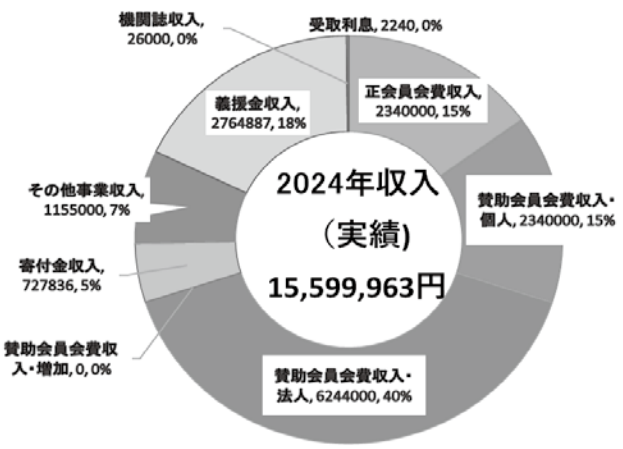
【収入】

2025(令和6)年度予算



会費収入が減少傾向、100万円の広告収入を計画

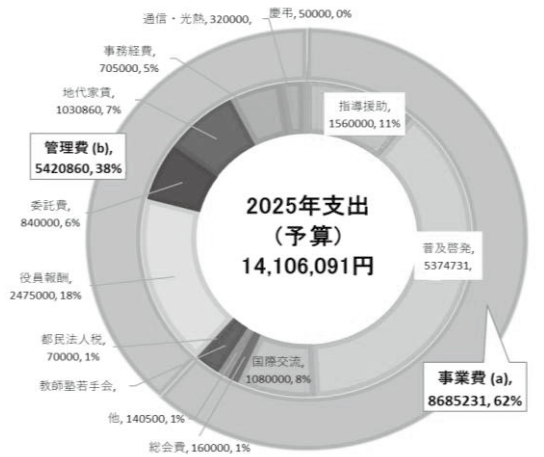
2024(令和5)年度実績



能登半島地震への義捐金やご寄付などにより増加

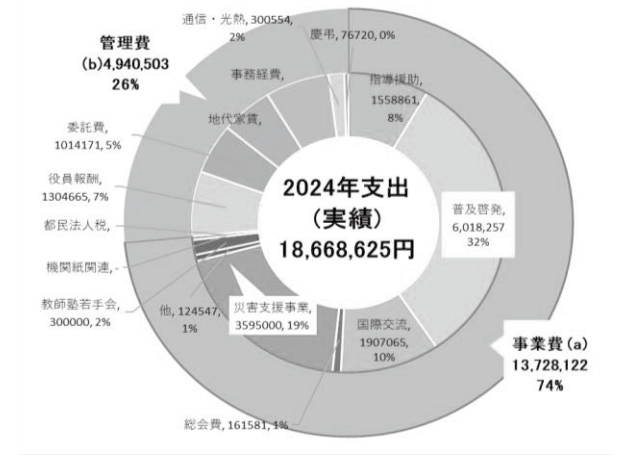
【支出】

2025(令和6)年度予算



支出削減のため清風掃々の発行回数を見直し

2024(令和5)年度実績



能登半島災害支援、海外渡航費用などが予算超過

【損益】

2024年度の実績は、ルーマニアなど海外渡航費が超過した結果、307万円の赤字となりました。
2025年度の予算は、約74万円の赤字でした。会員数の減少と会費収入の減少があります。
会費収入による「収入増加」と「支出の見直し」が求められます。

情報公開(2)　日本を美しくする会　支出明細表
2024年度(令和6)予算と実績

事業名		科目	内容	予算 円/年	実績 円/年	備考
事業費	A指導援助	ブロック大会	交通、宿泊、懇親、参加費	200,000	107,530	
		リーダー研修		100,000	501,616	利会長旅費
		総会関係		120,000	154,000	登壇者・ビデオ撮影
		千種理事交通費	車-ETCカード、駐車場	100,000	795,715	交通費/報酬30%
		資料作業費	スタッフ		260,176	
		小計		520,000	1,819,037	
	B普及啓発	清風掃々	編集(内製)	600,000	600,000	48・49・50・51号
			印刷(晃南印刷)	2,129,600	2,179,320	
			梱包発送(晃南印刷)	660,000	529,962	
			発送（レターパック・佐川）		240,506	
		取材出張	特派員	282,100	270,214	
		清風掃々小計		3,671,000	3,820,002	
		書籍		1,800,000	38,655	書籍配送費
		貯蔵品DVD		200,000	39,600	額装55枚負担
		書籍等小計		0	78,255	
		HP維持費	外注（15万x12）	1,800,000	1,800,000	
		webマガジンアップ	晃南印刷（5万x4）	200,000	220,000	
		メルマガ配信		100,000	100,000	
		リーフレット	啓発資料	258,000	0	
		小計		2,358,000	2,120,000	
		普及啓発計		6,029,700	6,018,257	
	C国際交流	現地支援補助	土産含む	350,000	214,636	土産(台湾)
		渡航費	事務局と通訳		1,668,753	旅費（台湾、ルーマニア）
		その他		450,000	23,676	土産（ルーマニア）
		人材育成	海外専任者育成		0	
		国際交流小計		800,000	1,907,065	
	D情報交換	理事会、総会	弁当代など	100,000	81,587	総会時飲食
		総会会場費	安与ホール		55,000	安与ホール
		会議、飲食			24,994	
		情報交換小計		100,000	161,581	
	E災害支援	災害義援金		0	3,595,000	金沢50万 能登210万
		災害支援小計		0	3,595,000	台湾50万 バス
	Fその他	メルマガ管理料	アークプロジェクト	60,500	60,500	
		コピー、名刺他	大塚商会、議事録センター等	60,000	55,277	大塚商会・名刺・梱包
		移動燃料代	理事ガソリン代	200,000	6,330	駐車場
		振込手数料		10,000	2,440	振込手数料
		その他小計		330,500	124,547	
	G	便教会・教師塾・若者		300,000	300,000	
		小計		300,000	300,000	
	H	掃除道記念誌			-7,189	30周年計上修正
		小計		0	-7,189	
	I	法人都民税	新宿都税事務所	70,000	70,000	
		小計		70,000	70,000	
事業費　計(a)				8,150,200	13,988,298	

		科目	内容	予算 円/年	実績 円/年	備考
事業費	J役員報酬	専務理事	給与	1,800,000	1,200,000	
			厚生労働費(保険、年金など)	180,000	104,665	
		人材育成	事務長引継ぎ		0	
		小計		1,980,000	1,304,665	
	K経理委託	帳簿管理、事務	石井（6万x12）	720,000	969,366	石井・品田7～10月
		石井税理士	顧問料(確定申告作業)	20,000	22,046	
		司法書士	定款変更費	62,000	22,759	
		小計		802,000	1,014,171	
	L地代家賃	西新宿事務所	家賃、共益(75,370+5,805)*12	1,006,860	1,006,860	
		総会会場	安与商事	66,000	0	総会会議費
		火災保険料	事務所	24,000	0	
		小計		0	1,006,860	
	M国際交流	事務用品	掃除機、ノートパソコンなど	50,000	369,918	乾電池・浄水器・品田PC
		クラウド利用費	レンタル料	100,000	38,500	会計王クラウド
		事務用品	封筒・インク・用紙	100,000	23,096	
		スタッフ交通費		250,000	0	
		振込手数料	ジャックス手数料	320,000	334,334	
			三菱、郵貯	35,000	49,643	振替手数料・納税証明書
		コピー機	リース5年、17,064*12か月	40,000	51,824	
		打合せ	打上飲食代		52,509	次年度体制・発送・実践人
		団体祝金・年会費	賀詞・年会費		57,533	賀詞・富田氏へ手土産
		小計		895,000	977,357	
	N通信・光熱費	水道光熱費	電気、水道、ガス		69,221	
		通信費	WiFi		81,081	
			電話　NTT		81,794	
			宅急便　佐川、ヤマト		44,202	
			郵便　切手、レターパック、ハガキ		24,256	
		小計		470,000	300,554	
	O		臨時の出費		0	
		小計		0	0	
	P			50,000	76,720	お祝い・供花・弔電
		小計		50,000	76,720	
	管理費 計(b)			5,293,860	4,680,327	
支出合計　C(a+b)				13,444,060	18,668,625	予算退避　-5224565

支出合計　C(a+b)	13,051,200	15,599,963
損益　A−C	-392,860	-3,068,662

コメント

- 2024年度は、赤字予算39万円でスタートしましたが、実績307万円の赤字を計上しました。
  なおこれは過去最高の赤字幅であり、当会では2015年以来実質赤字が続いています。
- 理由は前頁で書きましたが、事業費の増加であり、予算815万円に対し1400万円に増加させました。
  増やした事業費の大きな科目は、海外渡航費(ルーマニア)　予算80万から実績191万円（+110万）
  指導援助費　予算52万から実績182万円（+130万）
- 今後の対応については、「今後の方針」(28頁)をご覧ください。

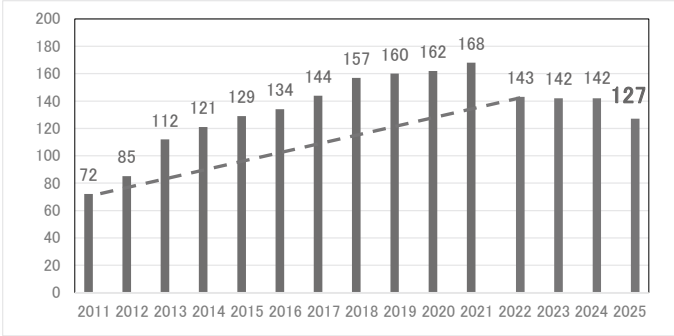
情報公開（3） 日本を美しくする会 会費収入と会員の推移

「円グラフ」(収入)(30頁)の内容です。

（会員と掃除に学ぶ会の数の推移） 2026年1月末現在

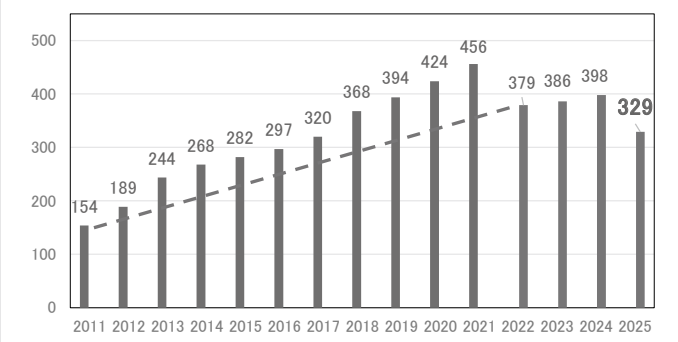
【賛助会員】 法人

（単位 法人）



【賛助会員】 個人

（単位 人）

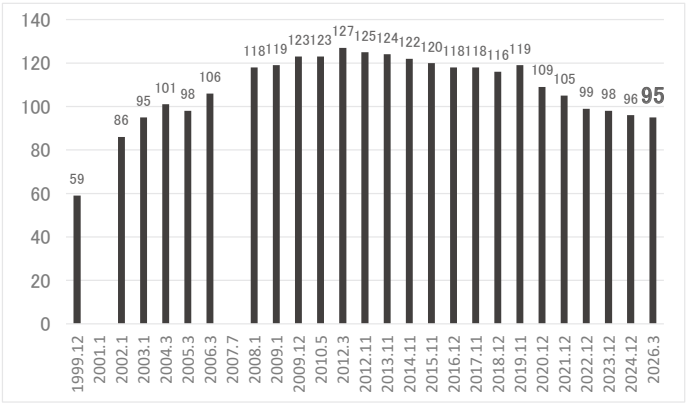


2011年度～2021年度は年度毎の退会記録なく、破線で概況を示します。
2025年は、賛助会員(法人)は15法人、(個人)は69名減少しました。

【掃除に学ぶ会】

（単位 会）

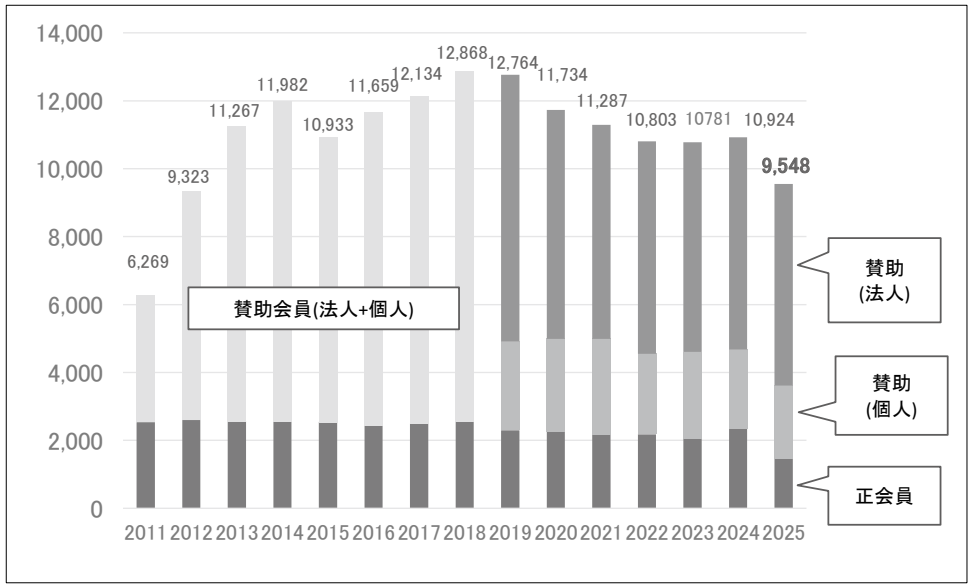
「清風掃々」名簿より



過去最大は、2012年(平成24)3月の127会。2026年2月現在95会。
2009～2015年は120会以上を維持しましたが、近年6年で約2割減少。

【会費収入の推移】

（年度末 単位 千円）



2011年～2018年は、賛助会員の法人と個人が別集計されておらず、合計値です。
2018年を最大として、以降会費収入は毎年40～50万円弱減少しています。

会費の内訳

賛助会員	法人 年間 1口 1万円（1口以上）	
賛助会員	個人 年間 1口 1千円（3口以上）	
正会員	各地の掃除に学ぶ会と理事	年間 2万円/人

絵 秦由美子



JR東日本社長感謝状受賞



２０２５年10月14日「鉄道の日」、日本を美しくする会は、東日本旅客鉄道株式会社様（ＪＲ東日本）より社長賞を授与されました。なお、ＪＲ東日本様からは、２０２３年にも首都圏本部長賞をいただいております。

贈呈式は11月11日、ＪＲ新宿駅事務室内の会議室にて執り行われ、当会から冨田浩志会長と東京掃除に学ぶ会代表世話人の渡辺栄司が出席しました。

ＪＲ東日本首都圏本部長・中村和訓様より、長年の新宿駅周辺での街頭清掃活動に対し感謝状を、ＪＲ新宿駅駅長・田中茂様より、記念品としてガラスケース入り駅長帽レプリカと懐中時計が贈られました。冨田会長は、２００４年に始まった新宿駅前清掃が今日まで22年間、毎月多くの参加者に支えられ続けてこられたことに感謝の意を表しました。

式後の意見交換会には、いずれも東京掃除に学ぶ会副代表世話人の、新宿街頭清掃世話役の波多野勝彦氏と、道具とゴミ搬出担当の塩貝久氏が加わって温かい交流の時間をもち、今後の協力体制がさらに深まりました。

この模様は、即日ＪＲ東日本社内広報に掲載され、冨田会長の地元の山形駅長にも知られ、山形駅街頭清掃に駅員さんの参加が増えたと伺っています。

この表彰が、全国の掃除活動の参加者の励みになればと思います。（渡辺栄司）

ご寄付された皆さまに、深く感謝申し上げます

2025年度　賛助会員（法人）様

会津掃除に学ぶ会
アキツ工業（株）
浅倉溢夫
(株)アサヒ印刷
㈱アネシス
一般社団法人アミュー
(株)アライズ
(有)アラカワ・ポーク
(株)イエローハット
植木鋼材㈱
(株）ウチダレック
(株)エオネックス
エスジー㈱
(株)エスビー商会
(株)エム・エス・アイ
(有)エムシイエス設計
㈱奥誠環境商事
O.N.G株式会社
大里総合管理(株)
オーブテック
(有)オキナワ宮古市場
(有)カイショー
神楽坂清掃会
(株)カナケン
(株)カレルサイエンス
義農味噌㈱
(株)クボタ贈商
クリーンテックシオガイ
(株)クリエイト
㈱黒沼共同会計事務所
(株)ケイツーリスト
元氣ごはんの健康給食
(有)幸栄企画
晃南印刷株式会社
(生協)コープみやざき
小金井市倫理法人会
(株)コガワ計画
(株)古田土経営
(株)コムライン
㈱コヤマ
斎藤会計事務所
蔵王米菓（株）
相模原商事(株)
(株)さくら工房
三光塗装工業(株)
(株)山陽保険工房
(有)ＣＯＴ協進
滋賀ダイハツ販売(株)
(株)システムジャパン
ジット(株)
㈱シムラ
(有)ジュネ
白岩運輸(株)
(株)新宮運送
新崎住宅設備㈱
(株)シンシア
(有)新和自動車
スギ製菓(株)
(有)精浜サービス
株式会社総本家辻
㈱大兼工務店
泰邦㈱
ダイヤモンドエンジニアリング
(弁)武田法律事務所
(株)武久
チアリー栃木㈱
(株)千葉自動車
千葉を美しくする会
株式会社　ツインクル
(株)鶴田商会
(株)ディー・ピー・エス
(株)照正組
東海神榮電子工業(株)
㈱東京エーワン
東京魚類容器(株)
㈱TOWATECHNO
常盤運輸(株)
TOKUメンテLAB
床枝衣料工業㈱
協同組合土質屋北陸
(株)とみひろ
ﾅｶﾑﾗｼｬｯﾀｰﾒﾝﾃﾅﾝｽ
㈱波デザイン
西野建設(株)
西山産業開発（株）
(株)ニッコー
日本企画(株)
(株)日本財託
(株)日本住設サービス
野田ハニー食品工業（株）
(株)ハイテックシステム
(株)パスポート
(株)ヒカリ
㈱光会館
㈱ヒューマンネットワーク
(株)瓢月堂
(株）兵庫物流
広ステーションホテル
VIP Japan㈱
(株)フォーウィンズ
福井掃除に学ぶ会
(株)ふじや
(株)ふじや冨宏商事
(株)フタガミ
(株)ブラザーズ
(有)古川運送
ヘイコーパック㈱
(有)豊城建設
(株)ホットマン
(有)ポップタウン
(株)マコトフードサービス
松崎　靖
松本幼稚園
(株)丸金
村昭繊維興業(株)
(株）メイワ
学校法人森教育学園
㈲安田電気建設
山形市霞城倫理法人会
(株)山本保雄商店
夢工房だいあん（株）
(株)ヨークベニマル
横浜税理士法人
四日市印刷工業(株)
(税)ランニングパートナーズ
(株)LOSA
合同会社 ロトモ

賛助会員（個人）329名様からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

佳書抄録

『鍵山秀三郎「一日一話」』(14)

PHP研究所

鍵山秀三郎(著)

亀井民治(編)

リーダーの資質

知識や技能を学ぶことが、リーダーとしての資質を高める方法だと信じ込んでいる人がおります。しかし、人間としての「思いやり」や人に対する「優しさ」がなければ、知識も技能も役に立ちません。「思いやり」と「優しさ」を育むために、リーダーは一番底辺の仕事を率先して受け持ち、心を磨くことが先決だと思います。

(日付4・17)

開放的な社会

閉鎖的な組織は、雰囲気も暗くなり、世間の常識から外れた自分たちだけのルールで動く傾向があります。反対に、開放的な組織は、他者を受け入れ、皆が明るく立ち振る舞っています。社会の閉塞感を打ち破るには、人も組織も明るく開放的にすることが先決です。そのためには、自分だけ良ければいいという考えを捨てることです。他者を受け入れる広い心を持つことです。

(6・3)

結果主義とプロセス主義

結果主義は「終わりよければすべてよし」という考え方です。これには誠意が感じられません。事実、結果を追うあまり、あの手この手を使い、ついには犯罪まで犯すようになります。この考え方が、今の世相を悪くしている大きな原因です。一方、プロセス主義は、方法と手段に重きをおいて、その過程を大事にする生き方です。私もめざしている生き方です。

(10・5)

人間の喜び

人間の喜びで最たるものは、人に頼りにされ、あてにされることです。どれだけ財産を持とうが、社会的な地位を得ようが、この喜びに勝る喜びはありません。人に頼りにされず、あてにされない生き方は、生きがいをなくすばかりでなく、活力を失い、老化の原因にもなります。結果において、みじめな一生を送ることになります。

(11・7)

心温かきは万能なり

温かい心には、万能の力が秘められています。温かい心は、人の心を癒すことができます。世の中が良くなります。そのことによって、自分自身を成長させることができます。薬に例えれば、万能薬です。万能薬には副作用がありません。いいことばかりです。まさに「心温かきは万能なり」です。

(11・20)



(絵・上村 禎彦(よしひこ))

川柳こころの散歩道（14）

都会に住んでいると、土に触れる機会は皆無に等しい。どろんこになって遊ぶ子どもの姿も今は昔、令和にはついぞ見られない光景かも。

川柳ワンポイントアドバイス

「語順を変える」

△土いじり野生の本能よみがえる
（東京都／川野士郎）

「土」から「野生の本能」と詠む感性が魅力的な句。ただ中七が八音になっているのが惜しいところ。中七は厳守ですが、上五は少々長くなっても構わないので、語順を変えて整えてみましょう。

○添削句
野生の本能よみがえらせる土いじり

「野生の本能」というパワーワードを上五に置き、語順を変えました。

＊お題「土」入選作

土けむり蹴って小さな反抗期
（草津市／宇野弘子）

・言葉にできない無言の反抗を「土けむり」で表現した佳句。蹴るという行為とともに、胸のもやもやも読者に伝わります。

底なしの泥ひとすくい取り除き
（大阪市／池永重彦）

・空しいことと知りつつも、倦まず弛まずひとすくいずつの泥を取り除く作者の生き様。

洗っても爪の間に残る土
（松戸市／佐藤誠）

・誰しもの共感を呼ぶ、子どもの頃からのあるあるですね。

ずっと土に埋まったままのわだかまり
（大阪市／川端日出夫）

土喰らうミミズも我も掘り進む
（高槻市／岡本　悠）

意地と意地一歩も引かぬ土俵際
（京都市／平　里彩）

泥臭く生きる作業着日干しする
（大阪市／釜田かな湖）

故郷の土に還った母想う
（泉佐野市／古谷りり）

土の中昭和時代のコーク瓶
（東京都／川野士郎）

54号お題「赤」（7／15締切）
s.f777.ikenaga@gmail.comまで。
ご一緒にLet's川柳！
中川千都子（なかがわちづこ）
心理カウンセラー、川柳作家。
川柳専門誌『現代川柳』編集長

日本を美しくする会　本部世話人(理事)名簿

	役職(担当)	氏名	会社名	〒	住所	電話	FAX
理事	会長	冨田 浩志	(株)とみひろ	990-0031	山形県山形市十日町4-1-3	023-635-1212	023-635-1228
理事	副会長	白鳥　宏明	白岩運輸(株)	414-0045	静岡県伊東市玖須美元和田729-36	0557-37-9327	0557-37-8058
理事	副会長・事務長	千種　敏夫	(有)エムシイエス設計	194-0043	東京都町田市成瀬台2-30-14-C303	042-739-1926	042-739-1927
理事	財務担当部長	塩貝　久	クリーンテックシオガイグループ本社	120-0047	東京都足立区宮城1-6-15	03-3919-3301	03-3919-6623
理事	広報担当部長	中島　セイジ	(株)QB総合研究所	111-0024	東京都台東区今戸1-2-10 JKビル1F	03-6802-4788	03-6802-4789
理事	北海道ブロック長	伊藤　信幸	北ミート(株)	007-0826	北海道札幌市東区東雁来6条2-2-25	011-783-7111	011-783-7268
理事	副*東北ブロック長	冨田　浩志	(株)ホットマン	982-0034	宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17	022-243-5091	022-243-5094
理事	関東ブロック長	前濱　勝二		400-0404	山梨県南アルプス市古市場250-3	055-287-6368	055-287-6368
理事	中部ブロック長	杉浦　三代枝	スギ製菓(株)	447-0857	愛知県碧南市大浜上町3-85-1	0566-45-2020	0566-45-2021
理事	北陸ブロック長	松木　延倫	土地家屋調査士事務所	918-8104	福井県福井市板垣1-523	0776-34-8648	0776-36-2906
理事	副*関西ブロック長	下　正晴	(株)丸金	577-0815	大阪府東大阪市金物町5-13	06-6724-1055	06-6721-9009
理事	中国ブロック長	小西　敏之		710-0803	岡山県倉敷市中島173-9	090-4800-0524	086-465-3788
理事	四国ブロック長	田中　正志	ギノー味噌(株)	791-3152	愛媛県伊予郡松前町大字永田松ノ隣345-1	089-984-2135	089-984-7300
理事	副*九州ブロック長	廣瀬　透	(有)学優舎	827-0003	福岡県田川郡川崎町1	0947-72-6298	0947-72-5599
理事	沖縄ブロック長	川畑　文夫	(有)カワバタ	904-2153	沖縄県沖縄市美里5-13-12	098-937-9122	098-938-8156
理事	事務局長	川畑　文夫	日本を美しくする会	160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-6-601	080-8552-7085	03-6304-5990
理事	東京	品田美幸	ワタケイ紙器(株)	136-0072	東京都江東区大島2-9-28	03-3682-6074	03-3682-6108
理事		渡辺　栄司		601-8411	京都府京都市南区西九条北ノ内町11	075-681-9166	075-662-0187
理事		時政　和輝	(税)ランニングパートナーズ	025-0097	岩手県花巻市若葉町2-18-16	080-5747-2450	
理事		鈴木　陽介		651-8142	京都府京都市樫原畔の海道1番地	090-3486-4274	
理事		前田　佳織		259-1117	伊勢原市東成瀬32-16ジーメゾン東成瀬イースト201	090-9132-9731	
理事	顧問	利　哲雄	日本企画(株)	273-0005	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
	相談役	田中　義人	東海神栄電子工業(株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4414	0573-26-5040
監事		鍵山　幸一郎	(株)幸栄企画	154-0001	東京都世田谷区池尻2-37-12-701	03-5712-8808	03-5712-8810

(注)「副*」副会長

各地　代表世話人名簿

	会の名称	代表世話人	会社名	〒	住所	電話	FAX
海外	ブラジル	利　哲雄	日本企画(株)	273-0005	千葉県船橋市本町6-21-16	047-426-0026	047-426-6071
	中国	陳　暁麗	泰邦(株)	540-0012	大阪府大阪市中央区谷町3-4-5-801	06-6966-0028	06-6966-0029
	アメリカ	塩貝　久	クリーンテックシオガイグループ本社	120-0047	東京都足立区宮城1-6-15	03-3919-3301	03-3919-6623
	台湾	秋山　浩司	東海神栄電子工業(株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	0573-25-1861
	北海道	ブロック長　田村　健一					
1	札幌	田村　健一	北一ミート(株)	007-0826	北海道札幌市東区東雁来6条2-2-25	011-783-7111	011-783-7268
	東北	ブロック長　伊藤　信幸　　副ブロック長　柳田　聡					
2	青森	中村　ゆう	(株)三和堂内	038-0003	青森県青森市大字石江字三好69-1	017-718-1721	017-718-1721
3	秋田	佐藤　正俊		010-0821	秋田県秋田市濁川字井戸尻45-8	080-8204-4090	−
4	岩手	鈴木　陽介	(税)ランニングパートナーズ	025-0097	岩手県花巻市若葉町2-18-16	019-606-3115	019-606-3133
5	宮城	柳田　聡	(株)ホットマン	982-0034	宮城県仙台市太白区西多賀4-4-17	022-243-5091	022-243-5094
6	多賀城	小畑　貞雄		985-0832	宮城県多賀城市大代1-13-3	022-364-4027	022-364-4027
7	山形	金子　昌弘	(株)エム・エス・アイ	990-2473	山形県山形市松栄1-5-7	023-647-3966	023-647-3967
8	会津	五十嵐新典	(株)山新商店	965-0059	福島県会津若松市インター西76	0242-23-1414	0242-22-1833
9	たむら	白石　高司	(株)白石モータース	963-4312	福島県田村市船引町船引字城ノ内64	0247-82-0232	0247-82-0215
10	郡山	佐藤　克敏	(株)ヨークベニマル内	963-8543	福島県郡山市谷島町5-42	024-983-3100	024-983-3125
	関東	ブロック長　前濱　勝二　　副ブロック長　波多野　勝彦　渡辺　栄司　中鉢　悟　古旗　達也　原田　孝之					
11	茨城	小倉　和良		319-0106	茨城県小美玉市堅倉1-2	0299-48-0319	0299-48-0319
12	古河	田口　精二	シューズサロンタグチ	306-0037	茨城県古河市錦町1-82	0280-22-0475	0280-22-0465
13	栃木	原田　孝之	(株)mikan	329-0114	栃木県下都賀郡野木町野木2061	0280-56-0011	0280-56-0021
14	足利	福田　茂夫	(株)ヒューマンネットワーク	326-0826	栃木県足利市借宿町281-12	0284-73-1270	0284-73-2757
15	新潟	清水　伸	(株)博進堂	950-0807	新潟県新潟市東区木工新町378-2	025-274-7755	025-274-7679
16	十日町	丸岡　武	(株)村山土建	948-0031	新潟県十日町市本町1-71-1	025-752-3721	025-752-3891
17	寺泊	菊地　正明		940-2523	新潟県長岡市寺泊田頭700-2	0258-75-3365	0258-75-3365
18	埼玉	大川　浩司		330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町4-69-1	080-6522-9099	
19	京葉	木村　智博		276-0033	千葉県八千代市八千代台南1-16-6-206	090-8949-0097	
20	山武	野老　真理子	大里綜合管理(株)	299-3236	千葉県大網白里市みやこ野2-3-1	0475-72-3473	0475-72-4001
21	れいたく	冨田 裕之	モラロジー研究所	277-0065	千葉県柏市光ヶ丘2-1-1	047-173-3325	047-173-3324
22	茂原	御園　和也	御園建設(株)	297-0029	千葉県茂原市高師521-6	0475-23-3732	0475-24-3481
23	東京	渡辺　栄司	ワタケイ紙器(株)	136-0072	東京都江東区大島2-9-28	03-3682-6074	03-3682-6108
24	日野	惟住　浩太郎		191-0032	東京都日野市三沢1508-10	042-594-7730	042-594-7730
25	神奈川	中鉢　悟	中鉢建設(株)	241-0001	神奈川県横浜市旭区上白根町744-4	045-954-3497	045-954-3613
26	大和	山崎　貞雄	(株)ニッコー	242-0025	神奈川県大和市代官1-10-3	046-269-0217	046-269-0284
27	山梨	前濱　勝二		400-0404	山梨県南アルプス市古市場250-3	055-287-6368	055-287-6368

	九州	ブロック長　廣瀬　透	副ブロック長　鎌田　安典(連絡先　鎌田　善政に同じ) 中尾　康二				
76	北九州	大下　英勝	新星電機(株)	805-0008	福岡県北九州市八幡東区枝光本町7-7-901	093-980-7375	093-980-7375
77	筑豊	廣瀬　透	(有)学優舎	827-0003	福岡県田川郡川崎町1	0947-72-6298	0947-72-5599
78	糸島	馬渡　誠	浮岳さん	819-1116	福岡県糸島市前原中央2-7-8-901	090-4583-7773	092-846-5288
79	筑後・八女	矢加部　尚武	(有)アークシティ	833-0012	福岡県筑後市溝口762-1	0942-48-5531	0942-53-6777
80	大分	矢野　雅則	合同会社　矢野商店	870-1137	大分県大分市宮崎台3-2-2	097-567-1772	097-567-1772
81	日田	長野　次郎	(株)光会館	877-0071	大分県日田市中本町7-12	0973-26-3077	0973-23-0158
82	熊本	蓑田　修治		860-0061	熊本県熊本市西区上高橋2-16-15	090-3328-1150	096-329-8308
83	八代	松永　謙悟	ふじ彩 (株)	866-0873	熊本県八代市横手町1680-2	080-6428-5942	0965-35-8804
84	人吉	田中　裕二	(株)リーな21	865-0005	熊本県人吉市上青井120-4	0966-22-1123	0966-22-1103
85	宮崎	奥野　幸子		880-0944	宮崎県宮崎市江南2-31-14	0985-51-3788	0985-52-7978
86	長崎	梅元　建治	ナガサキベイデザインセンター	850-0911	長崎県長崎市東山手町8-18	095-820-5598	095-820-5598
87	佐世保	前田　琢也	(株)セントラルホテル佐世保	857-0872	長崎県佐世保市上京町3-2	0956-25-0001	0956-22-8435
88	鹿児島	鎌田　善政	鎌田建設 (株)	899-4462	鹿児島県霧島市国分敷根141	0995-46-3000	0995-46-3114
89	さつま川内	小城　年久	小城製粉 (株)	895-0041	鹿児島県薩摩川内市隈之城町1892	0996-22-4161	0996-20-3973
90	指宿えい	土橋　真也	めぐみ写真館	891-0701	鹿児島県南九州市頴娃町郡307-3	0993-36-0148	0993-36-0510
91	徳之島	安田　司		891-7102	鹿児島県大島郡徳之島町亀徳986-8	090-2519-9308	
92	とんぼろ	冨吉袈裟右衛門		811-2247	福岡県槽屋郡志免町向ヶ丘2-4-3	090-3190-5490	
	沖縄	ブロック長　川畑　文夫	副ブロック長　川畑　文夫　佐和田　健二				
	ブロック長	石川　元義	(株)いしかわ文明堂	903-0104	沖縄県中頭郡西原町字兼久66	098-835-8001	098-835-8177
93	やんばる	川畑　文夫	(有)カワバタ	904-2153	沖縄県沖縄市美里5-13-12	098-937-9122	098-938-8156
94	沖縄中部	川畑　文夫	(有)カワバタ	904-2153	沖縄県沖縄市美里5-13-12	098-937-9122	098-938-8156
95	沖縄南部	佐和田　健二	(株)てこだ	901-2104	沖縄県浦添市当山2-5-6	098-943-3922	098-879-1505

便教会　名簿

	地域	会名称	代表者	〒	住所	電話	FAX
1	宮城	宮城便教会	村上　幸宏	983-0006	宮城県仙台市宮城野区白鳥2-15-10	022-258-4641	022-258-4641
2	群馬	群馬便教会	新井　国彦	370-0042	群馬県高崎市貝沢町447	090-8871-6929	
3	東京	東京便教会	山﨑　敏哉	201-0013	東京都狛江市元和泉1-19-4-210	080-3012-1519	
4	埼玉	埼玉便教会	村田　陽	340-0006	埼玉県草加市八幡町64-3	090-9146-2626	
5	静岡	静岡便教会	柿島　由和	416-0947	静岡県富士市宮下414-2	090-9932-5969	
6	長野	長野便教会	太田　智明	383-0021	長野県中野市西2-9-2	090-2238-2934	
7	愛知	愛知便教会	高野　修滋	445-0802	愛知県西尾市米津町天竺桂27	090-4215-1727	
8	大阪	大阪便教会	西橋　聖次	538-0044	大阪府大阪市鶴見区放出東1-24-24	090-7309-4821	
9	兵庫	兵庫便教会	木田　重果	665-0034	兵庫県宝塚市小林5-3-43-412	090-4293-3428	
10	京都	京都山城便教会	小笹　大道	602-8173	京都府京都市上京区金馬場町163	090-8467-9638	
11	三重	伊勢便教会	上野　祐一	516-0043	三重県伊勢市藤里町68-207	080‐1615-7317	0596-65-7209
12	九州	福岡便教会	泊　宏治	819-0036	福岡県福岡市西区吉武403-23	090-2963-3951	
	日本を美しくする会　本部事務所			160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-6-601	03-6304-5880	03-6304-5990

本書を読んでくださった方へ

「子どもたちに体験させたいな」「自分もやってみたいな」とお感じになりましたら、
まずこの名簿の「各地の代表世話人」あるいは「便教会の代表者」に連絡をされませんか。
どうぞ、勇気をもって一歩を踏み出してください。

●全国の先生方へ

「子どもたちに体験させたいな」と希望される先生へ。
時間は60〜180分。準備物は、濡れてもよい靴、マスクなど。
詳細はご相談です。

●一般の方へ

掃除は「自己修養」が本題ですので、「ひとり掃除」でも結構ですが、同じような気持ちを持つ人との活動は、より楽しいものになると思います。



絵　青田菜生

各会の代表世話人、便教会の代表者の方へ

もし先生や一般の方から問い合わせがありましたら、ぜひ丁寧に温かく迎えてあげて下さい。
掃除の活動が、教育分野や一般に広まるために、ご支援のほどよろしくお願い致します。

	中部	ブロック長　杉浦　三代枝	副ブロック長　白鳥　宏明　木下　豊				
28	伊東	白鳥　宏明	白岩運輸 (株)	414-0045	静岡県伊東市玖須美元和田729-36	0557-37-9327	0557-37-8058
29	静岡	杉井　保之	(株)オリジン・コーポレーション	425-0041	静岡県焼津市石津679	054-656-2040	03-6674-2451
30	磐田	金原　一平	キンパラ(株)	438-0086	静岡県磐田市見付1963-11	0538-35-5404	0538-34-0191
31	森町	榊原　淑友		437-0026	静岡県周智郡森町一宮94	0538-89-7810	0538-89-7810
32	浜松	黒柳　誠	(一社)未来学校	434-0042	静岡県浜松市浜名区小松906-1	080-4166-8798	−
33	小布施	木下　豊	文屋	381-0204	長野県上高井郡小布施町飯田45	026-242-6512	026-242-6513
34	中南信	宮之本　伸		390-0816	長野県松本市中条13-3-12	070-2665-2077	−
35	大正村	田中　義人	東海神栄電子工業 (株)	509-7201	岐阜県恵那市大井町630-1	0573-25-4550	
36	豊橋	印南　道孝		440-0025	愛知県豊橋市井原町45-7	0532-62-0401	0573-25-1861
37	豊田	古井　弘二	(株)道千	471-0013	愛知県豊田市高上1-6-7	0565-80-1681	0532-62-0401
38	西三河	杉浦　三代枝	スギ製菓(株)	447-0857	愛知県碧南市大浜上町3-85-1	0566-45-2020	0565-80-3301
39	名古屋	大塚　久利		464-0846	愛知県名古屋市千種区城木1-25-2	090-8957-3632	0566-45-2021
40	三重	伊東　俊一	(有) 南勢建築設計	516-0035	三重県伊勢市勢田町580-3	0596-25-7667	052-751-7558
	北陸	ブロック長　松木　延倫	副ブロック長　市村　昭代史　藤本　雅明				
	副ブロック長	市村　昭代史	村昭繊維工業 (株)	929-1332	石川県羽咋郡宝達志水町北川尻73	0767-28-2421	0767-28-3773
41	おやべ	藤本　雅明	ふじもと自力研究所	932-0055	富山県小矢部市西町2-28	0766-68-0563	0766-68-0563
42	福井	松木　延倫	土地家屋調査士	918-8104	福井県福井市坂垣1-523	0776-34-8648	0776-36-2906
43	石川	森川　和重	協同組合土質屋北陸	920-0059	石川県金沢市示野町西7	076-268-4666	076-268-4510
44	かが能美	山口　健次	(有)山口陶業社	923-1121	石川県能美市寺井町レ131	0761-57-1045	0761-57-1040
45	モナの森	岸野　守雄	笳里仏具製作所	923-0931	石川県小松市大文字町66	0761-22-1339	0761-23-3171
	関西	ブロック長　下　正晴	副ブロック長　田中　喜一朗　羽根　康英				
46	滋賀	後藤　敬一	滋賀ダイハツ販売(株)	520-3046	滋賀県栗東市大橋4-1-5	077-551-0081	077-551-0071
47	高島	川越　清司	(有) 宏和商事	520-1623	滋賀県高島市安曇川町下小川420	0740-32-1091	0740-22-1577
48	彦根	田中　喜一朗		527-0107	滋賀県東近江市今在家町286	050-5802-1485	0749-45-1867
49	京都	秦由　見子		613-0906	京都府京都市伏見区淀新町680	075-631-2233	075-631-2346
50	奈良	羽根　康英		639-2164	奈良県葛城市長尾282	0475-48-2682	0745-48-2682
51	大阪	松原　真紀		589-0005	大阪市狭山市狭山4丁目2300-1	080-3115-8831	
52	泉州	丸山　春樹	(株)丸山製作所	597-0081	大阪府貝塚市麻生中942-1	0724-26-1575	0724-26-1575
53	和歌山	平松　裕司	平松接骨院	640-8125	和歌山県和歌山市島崎町7-5-3	073-425-9101	073-425-9101
54	西宮・三宮	松田　泰英	コウベ・プレシアス・パール	650-0033	兵庫県神戸市中央区江戸町98-1	090-9884-0616	
55	尼崎不尽	町田　豊彦		561-0853	大阪府豊中市服部南町2-11-18	090-1480-8022	06-6866-6105
	中国	ブロック長　小西　敏之	副ブロック長　岡本　淳治				
56	岡山	小西　敏之		710-0803	岡山県倉敷市中島173-9	090-4800-0524	086-465-3788
57	広島	井辻　栄輔	井辻食産(株)	731-0301	広島県安芸高田市八千代土師67-2	0826-52-7121	0826-52-7101
58	東広島	上野　和浩	上野物産(株)	739-0007	広島県東広島市西条土与丸3-1-15	082-423-2220	082-422-8022
59	福山・尾道	岩城　勇二	ソニー生命保険 (株)	720-0811	広島県福山市紅葉町1-19-4F	084-927-3731	084-927-3744
60	安芸高田	山田　正治	(株)杉野自動車	731-0523	広島県安芸高田市吉田町山手1346-1	0826-43-0600	0826-43-0707
61	三原	高山　弘子		723-0004	広島県三原市館町1-3-3	090-2846-6765	
62	呉	中村　隆行		737-0003	広島県呉市阿賀中央4-1-13-705	090-9417-8970	
63	松江出雲	坂本　美由紀	みゆき農園	693-0011	島根県出雲市大津町1393-4	0853-21-1589	0853-21-1589
64	浜田江津	稲元　正敏		697-0003	島根県浜田市国分町600	0855-28-0574	0855-28-0574
65	益田	岡本　昇太	(株)キヌヤ	698-8503	島根県益田市常盤町4-38	0856-23-0865	0856-23-1131
66	萩	柴田　千恵子		758-0011	山口県萩市椿東4698-15	0838-22-9514	0838-22-9514
67	岩国	三好　祐司		743-0042	山口県光市宝町5-18	090-7991-8859	0833-71-3581
68	山口市	重枝　昭彦	朴の森　鍵山記念館	754-0894	山口県山口市佐山131-1-2	083-989-3884	083-989-3884
79	宇部	宮川　洋司		755-0083	山口県宇部市南小羽町1-8-7	080-2888-4678	0836-35-8207
70	下関	松村　久		751-0832	山口県下関市生野町2-18-6	083-252-4980	083-252-4980
	四国	ブロック長　田中　正志	副ブロック長　鍛谷　幸一				
71	香川	久保　勝是		762-0025	香川県坂出市川津町729	0877-45-1254	0877-45-1254
72	阿南	古川　博	古川運送(有)	779-1620	徳島県阿南市福井町吉谷54-1	0884-34-3070	0884-34-2868
73	徳島	鍛谷　幸一	(株)ふじや	779-3117	徳島県徳島市国府町日開字東456-2	088-642-0050	088-642-9888
74	愛媛	田中　正志	ギノー味噌(株)	791-3152	愛媛県伊予郡松前町大字永田345-1	089-984-2135	089-984-7300
75	四国中央	毛利　久美子		799-0101	愛媛県四国中央市川之江町515-1-103	0896-58-5665	0896-58-5665

ひろば

2025年度は、鍵山様の逝去、NPOの認定資格失効、新体制のスタートと激動の年でした。1年ぶりに発行の今号は、これらの特集号となりました。

中でも認定資格失効は痛恨の事案であり、一連の対応をご説明したつもりです。皆さまのご叱責とご判断を仰ぎますとともに、今後のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

追悼　鍵山秀三郎様

・〝巨星墜つ〟　約10年病床におられた鍵山様。当会を創設し「心の荒みをなくしたい」と国内外を飛び回り、「掃除道」普及に努めて来られました。「私たちがご遺志を次代に伝えます」との、3名のお言葉でした。

総会・会長あいさつ

・昨年、新会長に就任した冨田浩志氏。

教育と掃除　田仲三夫先生

・荒れた中学校で、体を張ってやんちゃな生徒を指導していく…まるで猛獣使いです。退職後も、目の不自由ななか、学校のトイレ掃除や駅でガム取りを続けているのは、「すべては後から来る者のために」と。

SDGsと経営　㈱とみひろ

・長寿企業で「革新」を続ける経営、これを当会の運営に生かしていただきたい、また役員や全国の皆様に新会長冨田さんを応援していただきたいと思いつつ取材しました。

認定資格失効

本質原因を究明するために

・「感情や推測ではなく、事実と客観的視点に基づいて本質原因を究明するために」　賛否のある中、冨田会長が理事会の承認を得て、弁護士による「第三者調査」を実施しました。

・会員の率直な声をお聞きするため、初の「会員アンケート」をおこない、

・最後に「顧問弁護士の意見書」をいただきました。

・会内には、「認定不要論」も多くあるようです。取得の経緯や鍵山様の思いを記載しました。

情報公開

・2024年度は大赤字ですが、当会は実質「2015年以来連続赤字」です。

JR東日本社長表彰

・2004年に始めた新宿街頭清掃の表彰は、全国の仲間への励ましです。

▼川柳　心の散歩道　「土」

・子供のころの土いじりを思い出し・・

裏表紙　野口智子（さとこ）さん

・群馬出身の水彩画家、公園清掃で、笑顔の参加者や落葉の袋の山などの感動的な景色を絵に描いたとか。

「清風掃々」の反省

認定失効について「清風掃々」も一端の責任を感じ、最後に申し述べます。

指摘された当会の課題

2つの弁護士報告では、役員の体制とその意識の希薄化、そしてガバナンスの形骸化が指摘されました。

そして、会員アンケートには、「会の将来に不安」「認定や財務には無関心」などの回答がありました。

そこで感じた反省は2つあります。

会員・読者に対して、①夢が持てる「ビジョン」の提供ができていない　②「正直に」「わかりやすく」、不都合な情報をも伝える姿勢が不足であったろうということです。これらに対する会員のご要望やご不満を感じました。

「若者、よそ者、バカ者が変える」

これらの人々は、アイデアや大胆な行動で変革をもたらす可能性を持つといわれます。弁護士報告にも「闊達な議論を」とあります。

人々の心が一つになるには、まず率直な「情報公開」による「情報共有」が前提であり、その上で多様な人々が自由に「対話」できるしくみが必要だと思いました。コミュニケーションの両輪、「情報公開」と「対話」がかみ合うことで信頼関係ができると思います。

「清風掃々」は誰のためのものか

弊誌は、一番は読んでくださる「読者」のためのものであり、情報の単なる転送や一方的提供ではなく、読者に面白く、わかりやすく、役立つ内容でありたいと改めて思いました。

皆さまの忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

（縄田良作　140-0014 東京都品川区大井1・16・1・2302）

清風掃々 第53号　2025年３月発行（年２回発行）	
発行　NPO法人　日本を美しくする会 〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-12-6-601 電話 03-6304-5880　FAX 03-6304-5990 Eメール　nihonsouji@souji.jp ホームページ https://www.souji.jp/	発 行 人　冨田　浩志 編 集 人　縄田　良作 印刷製本　晃南印刷株式会社
賛助会員 個人 年間 1口　1,000円（3口以上） 賛助会員 法人 年間 1口　10,000円（1口以上） 口座名 特定非営利活動法人　日本を美しくする会	1.ゆうちょ銀行から 口座記号・番号：10030-44442691 2.ゆうちょ銀行以外の金融機関 店名：008 預金種目・番号：普通・4444269
＊ご入会は、まず事務局に連絡頂き、こちらから指示を差し上げてからのお振込みをお願いします。	